

筑波大学 人文・文化学群

日本語・日本文化学類



College of Japanese Language and Culture

School of Humanities and Culture

University of Tsukuba



伝えたい
日本
がある。

ようこそ、日本語・



このロゴマークは、2004年に制定されました。学類関係者の公募により選ばれたものです。日本語・日本文化学類の通称「日日(にちにち)」から「日日草(にちにちそう)」を連想し、家紋風にデザインしたものです。

日日草は、暑さに強く初夏から秋まで咲き続けます。また仲間の蔓日日草(つるにちにちそう)は冬の間も根が枯れず、大変繁殖力の強い植物です。花言葉は「生涯の友情」「優しい追憶」「楽しい思い出」です。

皆さんは大学での学びにどんなイメージを抱いていますか。明確な目標をもって大学進学する人がいる一方で、義務感から決断した人もいるはずです。学びの目的や動機は千差万別で、キャンパスで許容される差異が多様であればあるほど、それが大学の個性を伸ばし、魅力を高めることにつながります。なぜなら、大学での学びは、知識の吸収だけにとどまらず、新しい視点で物事を理解する姿勢を重視するからです。同質性の高い人ばかりでは、未来を切り開くブレイクスルーは期待できません。

日本語・日本文化学類では、日本語と日本文化をめぐる多様な事象を総合的に捉え、グローバルな視点から多文化との共存を主体的に考えることができます。人材育成を目標に掲げています。この目標の意味するところは、古典や先達の知見には敬意を払いつつも、それに決して満足することな

Our Message

日本文化学類へ！

く、興味ある対象について掘り下げ、大胆なアイデアと緻密な論理で自分の考えを組み立てる方法を学ぶことの大切さです。

そのために日本語・日本文化学類では、カリキュラムに工夫を凝らしています。留学生と協働で学修し、対話を通じて自らの考えを表現する機会や、国内外での実習を通じて、自分の言語と文化を振り返る実践的な学習の場を用意しています。また卒業研究では、複数の教員の指導による問題発見の場である演習も提供しています。そうした環境に身を置けば、おのずと日本語や日本文化に対する固定観念が揺さぶられ、その中身が刷新されるに違いありません。

このパンフレットにある「伝えたい日本がある」というメッセージは、4年間の学修を通じて、言語学、日本語教育学、文化人類学、歴史学、文学といった専門性を高めつつ、日本語や日本文化に関して、自分の言葉で語れるようになるという到達点を指します。ぜひ皆さん、私たちと一緒にチャレンジしてみませんか。

筑波大学 人文・文化学群
日本語・日本文化学類長

鈴木伸隆

Contents

学類長あいさつ	1
日日生からのメッセージ	3
教員からのメッセージ	5
カリキュラム紹介	7
日日生の授業紹介レポート	9
国内実習・海外実習・日本語教育実習	11
チьюター制度・留学生	13
海外留学	15
卒業論文	16
卒業後の進路	17
まだまだ知りたい学類 Q&A	19
入試案内・アクセス	21

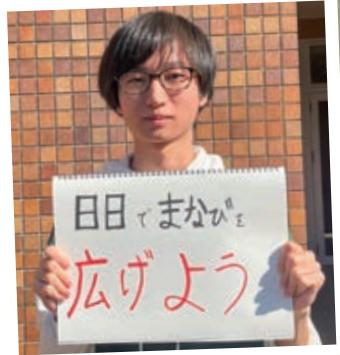


日日生からのメッセージ



日日の先生方の授業は、それぞれの先生方が行っているご研究や興味関心・事例を交えながら楽しく授業をしてくださるので、本当に学びの多い日々を日日で過ごせています。また、先生との距離が近く、ランチミーティングなどで普段聞けない貴重なお話を聞くことができるのと、とてもいい経験です。(亀山)

▶教員からのメッセージ (p.5)



日日では、日本語学や日本語教育学などの日本語分野や、文学や文化人類学、歴史学などの文化分野について幅広く学ぶことができます。その授業方法は様々で、実習をする授業が数多く用意されているのも特徴のひとつです。また、先生方が基礎から丁寧に教えてくださるので、無理なく楽しく学修することができます。(旭)

▶カリキュラム紹介 (p.7)

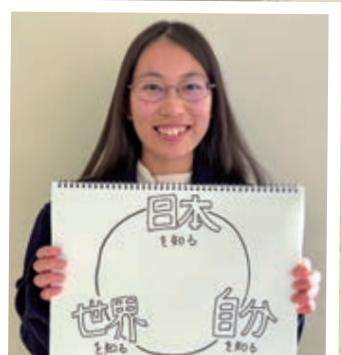


日日の授業では、日本語やそれを取り巻く文化・文学まで幅広く学び、その魅力を母語話者だけでなく非母語話者に教える方法も考えます。他言語への理解と合わせて、日本語への興味がますます深まりました! (インシラ)

▶日日生の授業紹介レポート (p.9)

普段意識されることは少ないですが、日本語も日本文化も私たちの生活と深くつながっていることを、授業や友人との学び合いが気づかせてくれます。日本を知ることを通して世界を知り、自分をも知る。そんな経験ができるのが日日の魅力です! (宮嶋)

▶日日生の授業紹介レポート (p.9)



日本語・日本文化を学ぶということは、知識だけを学ぶことではありません。実際に営まれている文化や使用されている言語を、直接見聞きすることで、さらに実りのある学びになります。日日では、談話・方言・文化のフィールド実習が行われています。知識を経験に結びつけてみませんか? (松野)

▶国内実習 (p.11)



言語、食事、大学生活…日本から一歩出ると、そこには異なる文化が広がっています。私も韓国実習に参加して五感で感じるものすべてが新鮮に感じられました。そして、自分が当たり前だと感じている日本の文化についても考え直すきっかけともなりました。皆さんも海外実習で新しい世界に飛び込んでみてください! (大塚)

▶海外実習 (p.11)



試行錯誤を重ねながら日本語教育のノウハウを学ぶことができます! 私は教育実習を通してたくさんのことを受けました。実際に「先生」として授業をするので、日本語教育に興味がある人、何かを教えることが好きな人は必見です! (内藤)

▶日本語教育実習 (p.11)



「大学での新しい出会い」それは必ずしも日本文化圏出身の人との出会いとは限りません。私達の常識を、世界の人々はどのように感じるのでしょうか? 日日には、日常的に多様な文化に触れ、新しい視点で世界を見つめ直す貴重な機会があります。(荒巻)

▶チューター制度・留学生 (p.13)



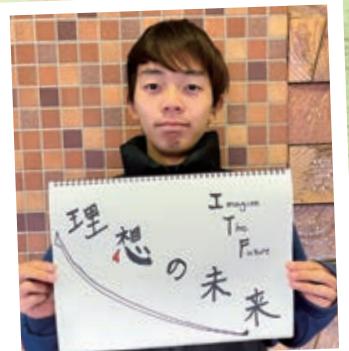
私は「自分探し」に海外に行く人が理解できませんでした。しかし留学を通して、「自分って意外と腹胸あるな」とか「実は社会貢献したい」とか、新しい自分に出会いました。挑戦は未知の自分を知るきっかけです。日日で「自分探し」してみてはいかがでしょう?(高橋)

▶海外留学 (p.15)



日本語学、日本語教育、文学作品、映像作品、古典、国語教育、フィールドワーク……皆さんも日日で「好き」をとことん研究してみませんか? 私は昔からずっと好きだった和歌と真摯に向き合って卒業論文を書きました。(小口)

▶卒業論文 (p.16)



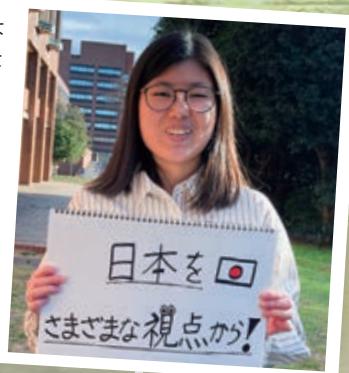
日日生は、国語科教員・日本語教師・公務員になったり、企業や大学院に進んだりと多様な未来を選択しています。今まで想像もしたことのなかつた夢が見つかるかもしれません。日日で好きなことを学んで、理想的な進路へ踏み出しましょう!(宮崎)

▶卒業後の進路 (p.17)



日日では、日本語教育、日本語学、日本文化、日本文学について学ぶことができます。『源氏物語』や『おくのほそ道』など予め知っていた作品でも、詳しい背景や考察を知ることで、日本文学の良さを再発見できました。(及川)

▶Q&A 学習編 (p.19)



日日の魅力の一つは、小規模なため友達を作りやすい・仲良くなりやすいということです! 学修においては、日日だけでなく、もちろん他の学群や学類の講義も受けることができます。日本語・日本文化をはじめとした新たな視点を見つけられるのも日日の魅力です。(杉田)

▶Q&A 生活編 (p.20)

教員からのメッセージ

日本語・日本文化学類は、ひとつ
の事象や課題を多角的に考察する
力、問題発見・課題解決のために実
践する力、そして、多様な背景の人
たちと課題を共有し、ともに解決し
ていける力を有する、文化の創造者
たる人材を養成することを、教育の
目標としています。

すべての学生が、日本における言
語・文化事象を総合的に捉え、グ
ローバルな視点で理解する力を養
えるように、学際的な専門科目を多
数用意し、様々な専門領域の教員
が、みなさんをお待ちしています！



石田 尊 ISHIDA TAKERU

日本語学
Japanese Linguistics

日本語における他動性（他動詞らしさ、
他動詞文らしさ）や、受動文などのヴァイス現象に特に関心を持ちつつ、日本語の
文法を研究しています。授業では日本語の
歴史や方言も扱っています。日本語はどういう言語か、どうして今のような姿にな
ったのか、皆さんと一緒に考えていく
たいと思います。

今田 水穂 IMADA MIZUHO

日本語学・コーパス言語学
Japanese Linguistics / Corpus Linguistics

我々は複雑な思考や情報を、いかにして
限られた単語の列で伝達するのでしょうか。
また、ごく限られた単語の列から、いか
にして複雑な情報を取り出すことができる
のでしょうか。我々がどのように思考を言語化し、
伝達を効率化し、意味を解釈するのか、言語と意味の関係について
考えています。



金 仁和 KIM INHWA

韓国語学・対照言語学
Korean Linguistics / Contrastive Linguistics

語彙分類の方法は、文法、意味、語用的
用法等、目的により様々です。意味派生
からの分類も興味深いです。例えば、擬
声語・擬態語等で二つ以上の感覚の意味
を持つ語彙の分布を韓日で比較すると、
両言語の相違点が文化の影響面から理
解でき、文化と関わる言語の特性がよく
分かります。



澤田 浩子 SAWADA HIROKO

言語学・音声コミュニケーション研究
Linguistics / Speech Communication Studies

私たちが生きて生活していくうえで、他者
とのコミュニケーションは避けて通れま
せん。人間が社会で生きるとはどういうこ
とか、ことばの側面から考えていきたい
と思っています。授業では、学生たちと一緒に
フィールドワークを行ったり、外国人
児童生徒の教育課題についてプロジェクト
活動をしたりしています。



鈴木 伸隆 SUZUKI NOBUTAKA

文化人類学
Cultural Anthropology

文化人類学は、人びとの生活そのものを
調査研究の対象としています。非常に問
題が広いことが特徴です。人間が対象を
捉える眼差しは、いろいろな欲望や偏見
に満ちています。人やモノが世界規模で
移動する時代だからこそ、自分を相対化
する人類学的な視点は重要です。



江口 真規 EGUCHI MAKI

日本近現代文学・比較文学
Japanese Modern and Contemporary Literature / Comparative Literature

研究テーマは、日英文学作品における動物の表象（特に羊）と、その理論的枠組みとなる「アニマル・スタディーズ」です。授業では、翻訳や動物といったテーマから、日本文化を相対的・客観的に捉え、異文化を背景とする人々に伝える知識と力を身に付けてもらいたいと思っています。



小野 正樹 ONO MASAKI

日本語教育学・日本語学
Japanese Language Education / Japanese Linguistics

日本語を中心とした言語表現と言語行動との関係を、ポライトネスの観点から見ています。世界の日本語教育に関心があり、中でもウズベキスタン・カザフスタンなどの中央アジア地域との交流や、オンライン日本語教材開発にも取り組んでいます。



葛西 太一 KASAI TAICHI

日本上代文学
Ancient Japanese Literature

誰にでも理解できる説明が好まれる一方、誰にでも共通する価値観は成り立ちません。言語や文学を学ぶ意義の一つは、理解できないものに向き合う方法を学ぶことにあります。古典籍に残された文字や表現を手掛かりに、自文化や異文化の多様な「癖」や「変」を発見しましょう。

比
皆

さ

ん

ん



田中 祐輔 TANAKA YUSUKE

日本語教育・国語科教育・日本語学
Studies of Japanese Language Education / Japanese Linguistics

日本語教育の視点は、みなさんが世界に雄飛される際に、また、持続可能な世界構築に向けて人々と協業する際に基盤となる知見を与えてくれます。是非、学際性・国際性豊かな筑波大学の日本語・日本文化学類で、言語・文化・社会に関する専門性の高い学修と研究に取り組み充実した学生生活をお過ごしいただければと思います。



朴 宣美 PARK SUNMI

近現代日朝文化交流史・ジェンダー史
History of Cultural Exchange in Modern Japan and Korea / Gender History

私は社会文化史・ジェンダー史の観点から近代日本や朝鮮を考察しています。19世紀末から20世紀前半にかけて、西洋から朝鮮・日本へ、日本から朝鮮へ、朝鮮から日本へと渡った様々な人々（特に女性たち）の移動を明らかにし、それによって普及した新しい考え方や「知」について研究しています。



三好 優花 MIYOSHI YUKA

日本語教育文法・日本語学
Japanese Pedagogical Grammar / Japanese Linguistics

Japan-Expert（学士）プログラム日本語教育コーディネーターをしています。専門は日本語教育文法で、「ある文型が実際にどのような文脈・状況で使われるのか、なんのために使われるのか」ということについて、実例をもとに考察しています。みなさんも、普段使っている日本語について一緒に考えてみませんか。

カリキュラム紹介



教育の目標と特色

筑波大学学士課程の教育目標および本学群・学類の人材養成目的に基づき、学修の成果が次の到達目標に達したと認められる者に、学士（文学）の学位が授与されます。

- グローバルな視点から日本における言語・文化事象を総合的に捉えるための専門知識（言語学、日本語教育学、文化人類学、歴史学、文学など）と探究能力・研究手法とを修得している。
- 異言語・異文化を背景とする人たち、次世代の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる言語運用能力、情報処理能力および異文化コミュニケーション能力を身に附けています。

本学類への進学は、推薦入試やアドミッションセンター入試等によるほか、前期日程試験による受け入れに加え、総合選抜を通じて1年次は総合学域群に所属し、2年次から本学類に移行する方法があります。

総合学域群も本学類も、複数の専門領域の学修を通じて、様々な問題を多角的に捉える力の獲得を目指しています。この目標のもと、本学類では総合学域群から円滑に移行できるようなカリキュラムを編成しています。

体験記

地場 亮介【1年次：総合学域群 → 2年次：日本語・日本文化学類】

日日は日本語教育や日本文化、日本語学を学ぶ上で最高の環境です。1学年40名程度の規模の小さな学類ですが、その分、先生と学生の距離が近く、学生同士や先生との仲も良いので楽しく勉強することができます。

日日には推薦入試や前期入試のほか、総合学域群から移行することもできます。移行制度は、1年生の頃に総合学域群で授業をたくさんとつて、様々な学群・学類の雰囲気を掴んでから移行先を決める制度です。

日日に移行てくる学生がいることを前提にしたイベントもあり、交流会やスポーツ大会など、総合学域群生が馴染みやすいようになっていて、孤独を感じることはまったくありません!!もし日日に興味を持ちましたら、ぜひ日日へいらしてください!!お待ちしています!



授業内容

育成する能力とカリキュラムの構成

	1年	2年	3年	4年
専門科目	総合的な分析能力と問題発見、解決能力の統合		総合演習導入 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	
	多様な背景の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる能力	国際・協働科目群： 共同研究、対話実習、教育実習、フィールド実習、国際研修、インターンシップ		卒業論文演習Ⅰ 卒業論文演習Ⅱ 卒業論文
	グローバルな視点から日本における言語・文化事象を総合的に捉えるための専門知識	日本語科目群： 日本語の音声・音韻、日本語の文法、日本語の語彙、日本語の談話、日本語の語用論、言語と文化、日本語コーパス分析、ほか 多文化共生・ 日本語教育科目群：日本語教育文法論、日本語技能指導論、日本語教育心理学、日本語教育史、海外の日本語教育と日本学、多文化の中の日本、ほか 日本文化科目群： 近代日本の文化交流、日本の宗教と芸能、国語科教育と文学、中国文学と日本文学、世界文学と日本文学、表象文化論、ほか + 人文学類、比較文化学類、社会学類社会学主専攻の専門科目		
専門基礎科目	日本語や日本文化、多文化共生社会のあり方に対する基礎的な知識と明確な問題意識の醸成	日本語教育学特別演習、海外語学研修 専門英語A,B,C		
基礎科目	広い視野からの専門分野の発見と位置づけ	共通科目 関連科目		

1年次

- 共通科目および専門導入科目、さらに他学類のカリキュラムから幅広く専門基礎科目を履修することで、広い視野のなかで、自らの専門分野を発見し位置づけます。

2年次

- 専門科目を通して、言語学、日本語教育学、文化人類学、歴史学、文学などに関するバランスのとれた知識の獲得を目指します。
- 実習、留学生との合同授業、国際研修などの実践的な科目を通して、異言語・異文化との接触の中で、自国語・自己文化に対する問題意識を醸成します。
- 専門英語などを通じて、研究および発信ができる外国語力（特に英語力）を身につけます。

3年次

- 実習などの実践的な科目において、問題意識を深め、解決のための応用力・実践力を向上させます。
- 演習などのより専門的な科目を履修しながら、卒業研究のテーマ設定に向けて、総合的かつより高度な知識と研究方法を身につけます。
- 専門科目の学修から卒業論文作成への架け橋となる総合演習は、各教員の専門性を生かしつつ複数教員がグループ指導を行うもので、これにより、ひとつの事象、課題を多角的・立体的に考察する力を身につけます。

4年次

- 卒業論文執筆を通して、全人格的・総合的な分析能力を高め、問題発見、解決能力の統合をめざします。

日日生の授業紹介レポート

日本語方言論【石田 尊先生】

主に方言文法を扱うこの授業では、方言における文法には地域差があるということを、先生が興味深い例を交えて解説してくれます。また、世代によって各地域で方言がどのように変化しているのかについても、学ぶことができます。実際の地域方言に基づいて説明をしてくださるため、とても分かりやすく親しみやすいお勧めの授業です。

(橋本 かほり)



日本の文学概論【江口 真規先生】

『源氏物語』にある和歌はどのように英訳されると思いませんか?その英訳を読んだ際、私たちはどのように感じるでしょうか。この授業では日本の文学作品の原文と英訳を比較し、文学と翻訳について基本的な知識を学びます。英訳を読むのは大変ですが、日本語・日本文化の特徴について理解が深まります。文学の面白さと新たな視点に気づくことができる楽しい授業です。

(古山 優衣)



言語と文化演習Ⅰ【金 仁和先生】

広告を調査の対象とし、広告における言語使用の特徴や多様性を学ぶことができる授業です。それぞれ自分で見つけた広告を分析して授業内容を踏まえて訂正していきます。選んだ広告をより良くするにはどうするか考えるというのは新鮮な体験です。身近にあふれる広告にも言語や文化の多様性が反映されていることを学びました。

(会澤 結)



日本語コーパス分析【今田 水穂先生】

様々なテキストを収集し電子化したもの、それが「コーパス」です。この授業では、コーパスを用いて効果的な言語研究を行うための手法について学びます。実際に解析ソフトに触れたりと、パソコンを使う作業が多いですが、作業ごとに十分な時間が確保されているので、操作が苦手な私でも授業についていくことができました。

(中村 こころ)



日本語の語用論【小野 正樹先生】

挨拶、感謝、依頼、謝罪。これらは日常生活でよくある場面です。しかし、このような場面で何と言えばいいのか悩んだ経験がある人も多いのではないでしょうか。この授業を受講することで、私も会話の相手や場面に応じた適切な言い方を考えるようになり、コミュニケーションを円滑に行うことができるようになりました。

(佐久間 優衣)



日本語の談話【澤田 浩子先生】

私達が会話している時、何を意識して話しているのでしょうか。談話研究では様々な会話を題材に規則性や法則を見出します。SNSやビデオ会議などが溢れる現代において、談話研究は身近に感じられます。また、私達が会話の中で無意識に行っている会話スタイル、声調(声の高低)等を振り返る事で、自分では気づかない視点も得る事が出来ます。

(富田 康平)



STUDENTS REPORT

多文化の中の日本演習【鈴木 伸隆 先生】

A. センブリーニ著『多文化主義とは何か』の講読を通して、多文化主義の理念を学び、個人や集団間における差異をどのように捉えるかについて考えます。内容は容易に理解できるものではありませんが、質問しやすい環境が整っているため、現代社会の状況や生活に絡めて学びを深められるところがおすすめです。

(櫻井 彩乃)



東洋の歴史と文化【朴 宣美 先生】

例えば8月15日は、日本では「終戦記念日」ですが、韓国では「光復節」、北朝鮮では「解放記念日」と呼ばれ、日本の植民地支配から解放され主権を回復した日として認識されています。東アジアの国々は同じ歴史を共有する部分も多いですが、国ごとに捉え方は大きく異なっています。この授業を通してさまざまな立場の視点から歴史を学び直すことによって、多文化共生に必要な広い視野を養うことができます。 (大塚 那々世)



日本語教育学特別演習【三好 優花 先生】

日本語教育能力検定試験の過去問の解説を受講生が順番に演習形式で行います。ただ問題を解くだけでなく、その解説を考えることでより日本語教育の知識を深めることができます。検定試験の対策としても日本語教育学の知識を深めるためとしても有意義で、私は実際に受講後に検定試験を受験し、無事合格することができました。

(山田 千照)



日本語教育史【田中 祐輔 先生】

日本では、なぜ外国人生徒が増えているのか。日本語教育は現在何を求められているのか。日本語教育の成り立ちから、今日に至るまでの過程を学びます。歴史と世界情勢を通じて日本語を教えることの意義を改めて認識できる授業です。教育現場の映像や教材資料を豊富に使用しており、日本語教員試験対策も意識されています。

(桑畠 みづほ)



日本語教育文法論【稗田 奈津江 先生】

学校文法と日本語教育文法の違いを学び、日本語の文法を日本語学習者の視点から捉え直すきっかけとなるような授業です。学んだ文法に基づいて学習者向けの例文を作成する授業では、稗田先生の現場経験から得た知見のフィードバックを受け、日本語の文構造や格助詞の意味について考え直す機会となりました。

(稻熊 空)



表象文化論【渡部 宏樹 先生】

表象文化論では、文化事象を分析・考察するための基礎知識や概念を学びます。文学からポップ・カルチャー、哲学から映画まで私たちの生活には様々な文化があふれています。「BTS-ARMY間の“推し活”的危うさとは?」「ファンという現象はなぜ起こるのか?」あたりまえの日常を、表象文化の視点から覗いてみませんか?

(松村 真麻)



国内実習・海外実習・日本語教育実習

国内実習

ひとくちに日本文化といつても、自分が育った環境だけが日本文化ではありません。教室を離れて実際に現地を訪ねることで、それぞれの地域に根差した多彩な生活・文化と人々の存在に触れることができます。



- ◎フィールド実習（「日本語方言研究フィールド実習I/II」）
- （「日本語談話研究フィールド実習I/II」）
- （「日本文化研究フィールド実習I/II」）

海外実習

本学類では、実践性と国際性を重視し、海外で行う実習の科目「国際科目」を提供しています。日々の教室で学んだ知識を異言語・異文化を背景とする人たちとの交流の中で見つめなおすことにより、異文化理解、国際交流を身をもって体験することができます。



- ◎スロベニア実習（「日本語・日本文化国際研修I/II」）
- ◎韓国実習（「日本語・日本文化国際研修III」）
- ◎マレーシア実習（「日本語教育国際研修I/II/III」）

日本語教育実習

本学類は、日本語・日本文化を総合的・相対的にとらえ、異文化を背景とする人々に適切に発信できる知識と能力を身に付けた人材を育成するという教育目標のもと、日本語教育に力を入れています。



- ◎国内教壇実習（「日本語教育実習」）
- ◎遠隔日本語支援（「外国人児童生徒支援実習I/II」）

体験記

日本語方言研究フィールド実習



この実習では、茨城県の県西・県南地域をフィールドに方言の単語や文法体系を記録し、分析します。2022年は常総市、2023年は坂東市へ方言調査に行きました。「この地域の人はこんな言葉を話しているそうだ」というなんどなくのイメージはみなさんにもあると思いますが、実際に調査をしてみると、集落を1つまたいだだけで語形が異なったり、同じ地区出身の人でも言い方が同じでなかったり、多様なことばのあり方を実感することができます。共通語の影響で失われつつある言葉があると知り、「自分の祖父母はどんな言葉を話していたかな」「自分の話している言葉はどうだろうか」と考えるきっかけになりました。方言に興味のある人だけでなく、地域の文化や生活に興味のある人にもおすすめです。

（与謝野 凱）

体験記

スロベニア実習



この実習では、スロベニアに2～3週間滞在し、リュブリャナ大学の皆さんと交流します。大学では、プレゼンテーションをしたり、スロベニア語の授業を受けたりしました。また、現地の小中学生に日本語を教える機会もありました。大学以外では、大学の皆さんとご飯を食べに行ったり、市の博物館やブルデドやマリボルという街を案内してもらったりしました。日本とは異なる現地の生活様式に戸惑い、母国語以外も話す多言語環境には驚きましたが、今まで当たり前と思っていた日本での生活や言語学習を見つめ直すきっかけになりました。どの分野に関心がある人でも新たな発見のある実習だと思います。毎日が新しい出会いの連続で、とても充実した実習でした！

（縮はるか）

体験記

国内教壇実習



教材や教育方法について学んだ後、学習者の募集、コースデザイン、授業準備、当日の運営まで自分たちで行います。1日50分×2コマ×6回の授業をグループで協力して準備し、私は初級学習者向けの生活日本語の授業を行いました。教える内容も自分たちで考えため、生活に必要な日本語とは何かを考えるところから始まり、単元や文型の設定に苦労しました。教案作りの際には、初級学習者に抽象的な概念を伝えることが難しく、イラストやジェスチャー、教具を駆使して、わかりやすい教え方を模索しました。

大変な部分もありますが、先生方からの丁寧なご助言や受講生同士の話し合いにより、より良い授業ができるようになりました。学習者が上達したことを感じたりと、やりがいがあり、得るものが多いです。

（青木 香美）

日本語談話研究フィールド実習



私は愛媛県の大三島に調査に行きました。実習前の事前学習で、調査の手法だけでなくその地域の祭礼や風土などを仲間とともに調べるので、実際にやってみると聞き取りは案外スムーズに進められます。しかし、実際にやってみると事前に調べていた以上のことを感じできます。お昼ご飯と一緒に食べながら地域の料理について教えてもらったり、集落と一緒に周って空き家や人口減少の現状を聞いたり、実際にそこで生活する方々の口から語られる言葉は厚みがあります。私自身、大三島での経験から将来はそういう方々の思いや生の声を伝えていく仕事がしたいと考えるようになり、今も就職活動に向けて情報収集を進めています。これから自分の学習や進路に大きな影響を与えてくれた実習です。

(佐々木 奎)

日本文化研究フィールド実習



この実習では、実際に国内の地域を訪れてその地域の文化について、歴史・産業・市民社会などそれぞれ設定したテーマで調査します。今年度は京都府の舞鶴市で実施されました。私は舞鶴市の音楽文化を調査テーマに設定し、イベントの運営者の方、市役所の方、商店街で出会った市民の方など、様々な立場の方にお話を伺いました。インタビューの計画は事前に準備しますが、時には偶然出会えた方のお話が思わぬヒントになることもあります。事前準備の重要性に加えて現地の方と積極的に交流する面白さも実感しました。そうして自分の足で集めた情報をつなげてじっくり考えることで地域文化に対して多くの新しい視点を得られたことは、フィールド実習ならではの貴重な経験になったと感じています。

(土岐 千紘)

韓国実習



日本と韓国の歴史について理解を深めるために韓国を訪問し、ソウル、釜山、大邱などの都市をめぐり、学生がそれぞれ設定したテーマで調査します。日本と韓国は、しばしば「近くて遠い国」とも言われますが、その言葉が示す通り、遠く感じている人も多いのではないかでしょうか。しかし、実習を通じて現地の人々と出会い、実際に話すことで、韓国をより近くに感じることができます。交流する人の中には、高校生、大学生、高校の歴史科教員、「旧日本軍慰安婦問題」解決のために活動する人など、様々な立場の人があります。そのような人と関わる中で、一つの問題に対して、さまざまな視点から見つめなおすことのできる力を養うことができます。歴史問題や韓国に少しでも興味があれば、さまざまな学びが得られる授業だと思います！（宮澤 有伸）

マレーシア実習



実習先の日本語クラスを見学したとき、学生が目を輝かせながら「好きな日本のアニメは?」「いつか日本に行きたい!」と次々に話しかけてくれました。日本を心から愛してくれる人たちと出会って、初めて日本語を教える素晴らしさを知ることができた気がします。

自分が現地の人にとってどんな存在なのか、毎日考えるのも新鮮でした。異国の地にいる自分は、日本語や日本文化を教える先生で、言葉の通じない観光客で、また普通の友達でもありました。短期の滞在でしたが、マレーシアの街並み、道路、草木、音、匂い、人が、慣れ親しんだものに変わりました。この実習で何を感じるかは、その時の自分次第だと思います。私はぜひもう一度マレーシアに出向き、新たな発見と感情でいっぱいになりました。（島 沙也加）

修了証プログラム

これから日本社会は、外国人と共に学び働く機会がますます増えています。国内外で活躍する留学生や、生活者としての外国人、日本語学習が必要な子どもたちを、地域で包括的に支える態勢が求められています。そのような多文化共生社会に向けて、日本語・日本文化学類は、以下の2つのプログラムを開設しています。

●「登録日本語教員」養成プログラム

「登録日本語教員」は、多くの外国人に質の高い日本語教育を提供できるよう、2024年にスタートした文部科学省認定の国家資格です。本プログラムは、文部科学省から認可を受けて実施されており、養成課程の25単位を取得することで国家試験の基礎試験が免除され、また、国家資格に必要な実践研修を合わせて受講することが可能です。日本語教員に必要な専門性の高い知識と実践力を保証するものです。

●「日本語学習支援者」養成プログラム

外国人児童生徒への支援ができる学校教員や、生活者としての外国人を支える地域のボランティア等、国内で多様化する日本語学習者と関わる際に、日本語教育のごく基礎的な資質・能力を有していることを保証するものです。

遠隔日本語支援



この実習では、茨城県内の中学校に通う外国人生徒に対して、オンラインで日本語支援を行います。来日したばかりの生徒から、教科と日本語の統合学習を求める生徒まで、必要とされる支援内容の異なる生徒を幅広く担当し、大学生3~4名と生徒3~5名で構成されたクラスごとに、週2~3回の支援を実施します。日本語教育に関心がある人にはもちろんおすすめの授業ですが、学校や教育委員会の方と関わる機会も多く、また、学生間でミーティングを重ね、支援計画を作成、実行していくことから、周囲と連携を図りながら組織の一員としてプロジェクトに関わる経験を求める人にもおすすめです。実習中、直接生徒から「支援でやった日本語を友達に言えた！」などの声を聞くことができる点もこの実習の魅力の一つです。（宮本 彩花）



チューター制度・留学生

チューター制度

留学生が日本で不便なく生活が送れるように、個人レベルで支援を行うのがチューター制度です。日本語・日本文化学類ではこのチューター制度の活用に力を入れており、多くの学類生がチューターとして留学生の支援に関わっています。

チューターの具体的な役割は、留学生の学習・研究の補助（予習・復習の手伝い）を中心に、日本語学習の支援、日常生活のサポート（学内外の案内、諸手続きのための市役所等への同行、買い物の補助）などを行なっています。また、歓迎パーティーや交流パーティーなども企画し、親睦を深めています。チューター制度は決して日本人学生から留学生への支援という一方向的なものではありません。日本人学生もチューターを経験することによって、日常的な交流の中から日本語・日本文化の伝達や異文化理解についていろいろなことを実感し、また学ぶことができるものだと思います。



体験記

吉田 千春 & ヘルツシュ ヘンドリック

ヘンドリックとは授業やサークルが同じだったので、チューターという関係を超えて仲の良い友人になれました！異国から日本に来て勉強を頑張ったり、日本人と楽しそうに話をしたりしている彼と関わるうちに、私自身も在学中に海外留学したいという思いが芽生えました。

チューターにならなくても留学生と仲良くなることはできますが、チューター制度をきっかけに、留学生との関わりが増えることは間違いません。今でこそチューターになってよかったですと感じることが多いですが、本当に自分が役に立てるのか、文化の違いで問題が起らぬいかなど、不安なこともたくさんありました。しかし、ヘンドリックと冗談を言い合ったり、一緒に遊んだりしていくうちに、抱いていた不安の大部分は杞憂だったことがわかりました。私と同じように活動している日々の同期や先輩たちと助け合うこともでき、チューターの活動を通して、「人とのつながり」を強く実感できたことが、一番の収穫だと思います！

（吉田 千春）



小松原 結依 & バカカン

中国からの留学生のカカンさんとは、一緒にご飯に行ったり体育の授業を受けたりして、すぐに打ち解けることができました！チューター活動を通して、カカンさんから中国の文化を学んだこともあります。自分から日本文化を発信するだけでなく、日本の音楽アーティストやスポーツ選手といった共通の話題と一緒に共有できたことがとてもうれしかったです。チューターは留学生間で行われる懇親会や学外研修に参加することもできます。このような活動を通して、自分が担当している留学生だけではない様々な留学生と交流できたことは、自分にとって貴重な経験になりました。チューターは誰でも参加することができます。私自身千葉県から電車通学しながらの活動でしたが、カカンさんと連絡を取りながら、無理なく責務をまとうことができました。異文化を学びたい、交流の輪を広げたい、日本文化を発信したいという方は、ぜひチューターに挑戦してみてください！

（小松原 結依）



留学生

日本語・日本文化学類は、短期留学生・日研生・正規生（JE生含む）など、世界各地から数多くの留学生を受け入れています。日々の学生は、チューター制度や合同授業等を通じて留学生と触れ合う機会が非常に多く、毎日が国際交流です。

【日々の留学生数】(2016~2024年度)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
短期留学生	21	35	38	3	10	22	22	28
日研生	12	4	1	3	3	4	6	4
正規生（JE生含む）	5	2	2	2	2	4	4	4

※当該年度に受け入れ、入学した人数。2020年～2022年はコロナ感染拡大による入国制限のため受入数減少。

留学生出身国・地域 (1990-2024年度)

	アゼルバイジャン		インドネシア		カザフスタン		スウェーデン		タジキスタン		ブラジル		マレーシア
	カンボジア		スペイン		チェコ		フランス		ミャンマー		ミャンマー		ミャンマー
	アメリカ合衆国		ウクライナ		キューバ		スリランカ		中華人民共和国		ブルガリア		メキシコ
	イギリス		ウズベキスタン		コロンビア		スロバキア		ドイツ		ベトナム		モンゴル
	イタリア		オーストラリア		サウジアラビア		タイ		ハンガリー		ペラルーシ		ラトビア
	イラン		オーストリア		シンガポール		大韓民国		フィリピン		ポーランド		リトニア
	インド		オランダ		スイス		台湾		フィンランド		香港		ロシア

【日研生】

日本語・日本文化学類は、筑波大学での「日本語・日本文化研修留学生（日研生）」の受入組織となっています。日研生とは、日本国政府（文部科学省）の奨学金により、日本の大学において日本語能力および日本事情、日本文化の理解向上のための教育を受ける留学生です。自国の大学で日本語や日本文化に関する分野を専攻としている学生が対象です。



日研生は1年間の留学の成果として修了レポートを執筆します。指導教員や大学院生チューターからのアドバイスを受け、執筆に取り組みます。



最近の修了論文／修了レポート

- 中国人日本語学習者における日本語条件形式の誤用について —「と」と「て」の誤用を中心に—
- J-POPアイドルのグローバルファン獲得へのアプローチについて
—K-POPアイドルのマーケティング成功例を参考に—
- 新羅後半の社会状況との比較からみた平将門の乱
- 日本とカザフスタンのマスコットをめぐる比較
—日常生活からみた機能と使用方法を中心に—
- ホラー小説における怪談と実話的な要素の影響
- 「させていただく」表現における新用法の使用実態
- アニメやゲームにおける関西弁の英語への翻訳
- 韓国の犯罪映画の中の卑俗語の和約について
- 大学の国際化に関する意識調査
—異文化コミュニケーション能力の育成における日本人学生の経験と視点から—
- ビデオゲームにおけるヤクザの表象
- コスプレ衣装制作技術の発展とコミュニティの影響
- 日本におけるパッケージング

【JE生】

「Japan-Expert (学士) プログラム日本語教師養成コース」の正規生として4年間在籍します。母国の日本語教育の振興に貢献する日本語教師の育成を目的とします。日本語教育インターンシップに参加し、現場での実践力を養います。

詳しくは、[https://jp-ex.tsukuba.ac.jp/「筑波 JE」](https://jp-ex.tsukuba.ac.jp/)で検索！

海外留学

日本語や日本文化を客観的にながめる目を育て、世界に発信する力を持つために、ぜひ在学中に一度は海外留学することをおすすめします。一年生のうちから海外留学の時期について考え、準備を進めていきましょう。世界はあなたを待っています！



交換留学制度

筑波大学は、67か国・地域の大学や研究機関と380協定（CiC12、大学間174、部局間194）を締結しています。
(2024.2.2現在)

協定校への交換留学には、さまざまなメリットがあります。

1. 休学せず渡航できるので、計画的に単位を履修すれば4年間で卒業できる。
2. 留学先の取得単位は、一定の条件をクリアすれば卒業単位として互換可能。
3. 各種奨学金制度を利用しやすい。
4. 授業料相互不徴収に関する協定が締結されていれば、留学先の授業料免除。



協定校の一部

中国／北京大学、湖南大学、澳门大学　台湾／国立政治大学　韓国／梨花女子大学校、韓国外国语大学校、啓明大学校　タイ／タマサート大学　ベトナム／ベトナム国家大学　マレーシア／マレーシア工科大学　オーストラリア／ディーキン大学　カナダ／プリンス・エドワード島大学　アメリカ／カリフォルニア州立大学、オハイオ州立大学　メキシコ／グアダラハラ大学　ペルー／カトリカ大学　トルコ／ボジチ大学　イタリア／カ・オスカリ大学　エストニア／タリン大学　英国／シェフィールド大学　ドイツ／バイロイト大学　フランス／パリ第八大学　ポーランド／ヤギェウォ大学　ラトビア／ラトビア大学　リトアニア／ヴィリニュス大学　ロシア／サンクト・ペテルブルク大学　ウクライナ／キーウ国立大学　ウズベキスタン／タシケント国立東洋大学　カザフスタン／カザフ国立大学、ユーラシア国立大学　エジプト／カイロ大学

詳しくは、<https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ies-top/go-abroad-top> 「筑波大 海外留学」で検索！

体験記

高橋 奈々加 【マレーシア・マレーシア国民大学】

私は2022年3月から8月まで、マレーシアで交換留学をしました。本学のAIMSプログラムと奨学金「はばたけ! 筑大生」を利用して、渡航準備や費用の支援を受けながら、新型コロナウイルスの対策を徹底し渡航しました。マレーシア国民大学は、首都クアラルンプールから電車で1時間ほどの郊外にあるイスラム教の国立大学で、マレー語と英語で授業が行われます。私は自分の卒業論文のテーマに近い、言語や文化、教育に関する授業を英語で履修しました。慣れない英語での授業やレポートに苦しんだ日々も、今では忘れられない思い出です。

大学の寮での生活はハピニングだらけでした。窓から猿が入ってきたり、汚い水道水のため、洗濯物が全て茶色になりました、友人のバイクの後ろに乗って出かけたらスコールで水浸しになりました。また同じ寮のイスラム教の学生たちのルールに従った生活は、食べ物の持ち込み制限やアザーン（礼拝の呼び出し）時の行動制限があり、不自由に感じることもありました。しかし海外が大好きな私にとっては全てが新しい発見であり、どんな苦労も楽しむことができました。

最後に、私は大学時代を留学のために費やしたと言つても過言ではありませんが、全く後悔はありません。よく「大学は人生の夏休み」と言いますが、これは自由に時間を使って自分の好きなことを追求できる大学時代の特徴を、よく表している言葉だと思います。筑波大学や日日は、学生の関心を広げるイベントや柔軟性のある履修制度を通して、好きなことを見つけ挑戦するサポートをしています。ぜひこれらの支援を積極的に使い、満足できる「人生の夏休み」を過ごして下さい。



卒業論文

卒業論文は4年間の学生生活を締めくくる、大学における学業の総決算と言えます。若い感性でさまざまに吸収してきた滋養を基にして、ひろくアンテナを張りめぐらし「問題」を発見します。その課題の解決法をあれこれと試行錯誤しつつ導き出す過程を、分析的に説明することが求められます。漠然と分かっているつもりのことでも、思考を言語化して説明することは非常に苦しいことです。しかしこの苦しみを通してしか「唯一のもの」の創造は生まれないので。この創造の実感はきっと皆さん的人生のなかでももっとも充実したものとなるにちがいありません。

論文のスケジュール



卒業論文題目 最近の卒業論文題目(一部紹介)

- 香川県伊吹島方言の名詞アクセントにおける音調の世代差及び伝統的アクセントの保存状況
- 日韓漢字語彙の使用傾向比較
—「～的」「～感」のつく語彙に着目して—
- SNSにおける特殊文字使用的男女差・世代差
—絵文字を中心として—
- 日本における在日コリアンに対するレイシズムの現状
—Xの分析を通して—
- 日常会話と大学講義におけるフィラーの機能の比較
- 常総市立水海道中学校夜間学級は生徒・教師にとってどのような場か
—生徒の主体性と自己効力感に着目して—
- 麻耶雄嵩『夏と冬の奏鳴曲』試論
—本格推理小説の墜落と新生—
- 『常陸国風土記』にみられる「荒ぶる神」「国柄」と「風化(おもむけ)」
- 地方自治体におけるUターン促進に向けたプラットフォーム構築の取組
—京都府舞鶴市加佐・大浦地区の移住定住促進事業を事例に—
- 近代詩文書を中心とした書壇形成の変遷
—生活密着型の古典作品から生活メディアへの歩み—

昭和63年度からの卒業論文一覧は、HP (<https://www.japanese.tsukuba.ac.jp/sotsuron/>) で。「筑波日日」で検索!

体験記

小口 桃佳【題目:新学習指導要領における和歌教育の実践—百人一首を用いた授業提案—】

卒業論文を執筆する上でとても助けになったのは総合演習の時間でした。総合演習とは、3年生の時に行う一年間の演習授業です。ここではグループごとに論文の書き方や先行研究の調べ方などを学んだり、興味のある分野に関する先行研究を調べて発表したりと、卒論を書く上で欠かせないスキルを学ぶことができます。この総合演習の最大の利点は、同じ分野に興味のある学生でグループが構成されているため、学生や先生に相談がしやすいという点があります。実際に私も研究の方向性について悩んでいた際に、同じ和歌を扱うグループの友人に相談し、一緒に悩んでもらったことがあります。その友人とは四年生になっても研究ことで相談をし、意見をもらうなど、執筆の励みとなっていました。

卒業論文は四年間の集大成。不安に思う方も多いと思います。それでも好きなことを自由に研究できる機会はとても貴重な経験です。日々ではテーマ決めから論文提出まで、友人や先生方と相談しながら行える環境が整っています。みなさんもぜひ日日で「好き」をとことん研究し尽くしてみてください!



卒業後の進路

日本語と日本文化を総合的に学び、異文化交流にも深い理解を持つ日本語・日本文化学類の学生には、社会のさまざまな分野での活躍が期待されています。その期待に応え、これまでの卒業生は、各々の希望や適性に最も適した道に進んでいます。

主な進路

最新の情報は、<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/> 「筑波大 就職」で検索!

一般企業

ここ数年、卒業生の約半数が一般企業に就職しています。職種・業種ともに多岐に渡り、教育サービス業(教材出版販売、教育システムサービス、語学学校、等)、情報サービス業(情報通信システム開発、コンピュータソフトウェア開発、等)、流通・小売業(スーパー、コンビニ、等)や報道・出版業(新聞社、出版社、等)に就職しています。言語・文化両方にわたる視野の広さという、本学類の特質を仕事に活かすことが期待されています。

日本放送協会／テレビ朝日映像株式会社／日本経済新聞社／株式会社朝日新聞社／凸版印刷株式会社／学校図書／光村図書出版／株式会社ボーラー社／ベネッセコーポレーション／NTTデータシステム技術／野村證券株式会社／あおぞら銀行／群馬銀行／足利銀行／横浜信用金庫／日本郵政／日本航空株式会社／関東鉄道／佐渡汽船／ホテルオーケラ東京ベイ／株式会社東急リゾートサービス／丸紅／丸井グループ／JTB／エイチ・アイ・エス／日本武道館／三井記念病院

教師

本学類では、中学校・高等学校の国語科の一種教員免許が取得できます。学類生の多くが教員免許を取得し、5~6名が実際に教師になり、言語学的な面に強くしかも日本語教育の素養もあるユニークな国語科教員として活躍しています。

また、卒業後すぐに日本語教師として日本語教育に従事する者もいます。しかし、現在、大学や研究機関などの高等教育機関で日本語教師の職を得るために、国内外を問わず修士以上の資格が求められるので、日本語教師を目指す人の多くは、学類卒業後、大学院を経て日本語教師として活躍しています。

茨城県公立高等学校／福島県公立中学校／栃木県公立中学校／群馬県公立中学校／埼玉県公立高等学校／神奈川県公立中学校／山梨県公立高等学校／長野県公立高等学校／富山県公立高等学校／静岡県公立中学校／岐阜県公立高等学校／宮崎県公立高等学校／学校法人東京聖徳学園／星野女子高等学校／明星学園高等学校

国立研究開発法人・独立行政法人

国際農林水産業研究センター／環境再生保全機構

公務員

幅広い教養と広い視野を身につけて、公務員(県庁・市役所職員、裁判所職員、等)の道に進む卒業生も毎年数名います。

総務省／文部科学省／厚生労働省／茨城県庁／福島県庁／千葉県庁／東京都庁／愛媛県庁／佐賀県庁／つくば市役所／土浦市役所／成田市役所／さいたま市役所／沼津市役所／静岡市役所／豊橋市役所／茨城県警察本部／広島県警本部

進学・留学

学類での勉強の後、さらに専門分野の研究を続けたい場合、また、修士や博士の学位を得てより高次の専門職につきたい場合は、大学院に進学することになります。語学力を高めたり、さらに専門的な知識を深め、実践的な経験をつむために海外の大学・大学院に留学する人もいます。

大学院修了後の就職先は、国内大学教員では、筑波大学、東京大学、首都大学東京、群馬大学、広島大学など、海外大学教員では、中国の大連大学、韓国の興信大学、イタリアのカターニア大学など、世界中で広く活躍しています。

筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群

- 人文学学位プログラム：歴史・人類学サブプログラム、文学サブプログラム、言語学サブプログラム
- 国際公共政策学位プログラム
- 国際日本研究学位プログラム

筑波大学大学院人間総合科学学術院
人間総合科学研究群

- 教育学学位プログラム：次世代学校教育創成サブプログラム（国語教育領域）、国際教育サブプログラム

筑波大学大学院理工情報生命学術院
生命地球科学研究群

- 地球科学学位プログラム

北海道大学／大阪大学／東京外国語大学／東北大学／早稲田大学
海外 英国ノーサンプトン大学大学院



先輩の声

丸山 陽菜（愛媛県立今治西高等学校国語科教員）



「古典って役に立ちますか？」私は現在、高校の国語教員として働いているのですが、生徒からこんな質問をよく投げかけられます。英語や科学などに比べて、文学を学ぶ意義は目に見えにくいの

かもしれません。私はこの質問に対し、「古典学習は、異文化交流なんだよ。」と返答しています。これは、日日での学びを通して、私なりに探し出した答えです。

在学中、私は異文化に触れる機会に多く恵まれました。チューターをしたり、マレーシア実習に参加したり。多様な背景や価値観を持つ人々と対話することによって、私の中で凝り固まっていた「当たり前」は何度も崩れ落ちました。日日で自分自身や「日本」を客観的に見つめ直してみようとした試行錯誤した経験は、視野を広げる上で本当に大切だったと感じています。先人の思想が詰まっている古典も、現在の考え方を相対化するための「異文化」になり得るのではないかと思うのです。未来を担う生徒たちには、自分の「ものさし」を絶対視せず、多角的に物事を考え、寛容な姿勢で他者と関わることができるようにになって欲しいです。まずは、古典の面白さ、学ぶ意義に気づいてもらえるように頑張りたいです。

高橋 佑歩（東日本旅客鉄道株式会社）



きっぷを売り、お客様をご案内する業務は、一見すると日本語や日本文化とかけ離れているように見えるかもしれません。しかし、駅員の仕事は、観光流动を促すポスターを作成したり、駅のイベン

トを企画したりと、皆さんの想像以上に多岐にわたっています。世の中の仕事の多くは、日日で学ぶ内容と直接的な関連性が見出しづらいですが、それは、見えているのが仕事の氷山の一角であるためです。

日日に進学して、「自分が今まで見てきた日本」は、実際のごく一部であったことがわかりました。それは世界各国からの留学生を含めた、多様な価値観を持つ学友との触れ合いや講義から得られた結論です。高校までとは異なり、大学では自分の思い付かないような新鮮な見方・考え方につれて、それを蓄積することで、自分の考え方をアップデートされたと感じます。

日日で得られる多角的な知識は、どんな仕事にも活かせると確信しています。あらゆる選択に対して自身の糧となる、ここ日日で学生生活を送ることをお勧めします。

関 俊太（株式会社四谷大塚）



私は現在、受験指導塾で教鞭をとっていますが、塾の生徒達にとって勉強は、合格のための手段であって目的ではないのだろうと感じることがあります。ですので生徒には、「大学へ行ったら自分の好きなことを好きなだけ学べるよ」と言って、日々の学習についてエンカレッジしています。

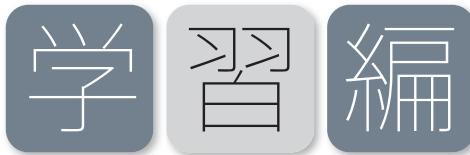
日日では、日本語や日本文化について様々な分野・視点から学び、普段何気なく使っている日本語って、見つめ直すとこんなに面白いのだなと感じることが多く、学問の楽しさを知ることができました。また、先人の意見を知り新たな自分の考え方を生むことや、色んな人と意見を交換することで得られる多角的な考え方や視点、実地調査による多様な人々との交流・コミュニケーション、得られたデータを整理・分析し、物事をマクロ的・ミクロ的に見る大切さなど、日日での学びの経験は、社会人になってからでも、様々な場面で役に立っています。最初は日本語に多少興味があっただけの私が、学ぶ楽しさを知り、社会でも大いに役立つスキルを得られたのは、間違いなく日日のおかげです。日日の学びは、その後の人生を必ず豊かにしてくれると思います。

五十嵐 理紗（株式会社リブセンス）



大切なのは正解を見つけることではなく、“何がそうさせるのか”を理解すること。私は現在、一般企業の人事担当として社員や就活生の人生に向き合う仕事をしています。働く上で強く感じるのは、様々な立場の人が意見を交わし、より良いものを作り上げるには、衝突や摩擦は避けて通れないということです。同時に、“絶対的な善悪”はないと気付かされます。では、私達にできることは何か。互いの関係を隔てるものは何なのか？何がそしたらしめるのか？背景に目を向け“違いを理解する”ことが、人と人が手を取り合い共に生きていく上では重要ではないでしょうか。日日学類は、日本人が育んできた文化や言語に目を向け、その背景で生じる環境の変化や思考の本質に迫る学類です。正解ではなく、背景や行間を極める学びは、1人の人間として生きていく上で多くのヒントを得る貴重な経験となりました。「あなたの心中に起こる感情は、何がそうさせるのか？」と私は今日も問いかながら、より良い社会を模索しています。

まだまだ知りたい 学類Q&A



Q どんな授業がありますか？

A 一般的に、先生方が授業の趣旨にそった内容について「講義」をする光景が思い浮かぶと思いますが、他にも「演習」や「実習」などがあります。

「演習」とは、各自に時間が割り当てられ、学生が発表していく形式の授業です。ある事柄に対して自ら疑問を持ったテーマについて調べ、考察し、その成果を授業の中で発表するというものです。個人発表やグループ発表など形態は様々です。多くの文献にあたり、分析力を身につけられるので、研究することの楽しさを実感できるでしょう。

「実習」とは、現地に出かけて調査を行ったり、実際に教壇に立って日本語を教えたりする、いわば実践型の授業です。海外の教育機関で研修をしたり異文化交流をしたりするものもあります。机上の学問だけではなく、実際に現場を見たり、経験したりすることで、新たな視点を切り開いていくことができます。

Q 外国語には何がありますか？

A ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・韓国語から1つ選択し2年間学ぶ「初修外国語」が必修科目です。さらに語学の実力を付けたい場合は、2年生以降、各言語の中級や上級を履修することもできます。もちろん英語も必修科目で、2・3年生では、より高度な内容を扱い、実践力につけていく「専門英語」もあります。

Q 大学図書館について教えてください。

A 筑波大学図書館は、全国有数の蔵書数を誇り、毎日、多くの学生や教員が学習や研究に利用しています。館内には自習スペースや勉強会用セミナー室もあります。また、自宅からでもオンラインで、文献情報の検索や貸出予約・延長ができます。多数のデータベースへのアクセスや他の大学図書館との相互貸出も行っており、高度な研究のためには欠かせない存在です。

Q 海外日本語教育実習は誰でも参加できますか？

A はい。「日本語教育国際研修」の標準履修年次は2~4年生で、例年、ほぼ希望通りに参加することができます。とはいっても、いきなり日本語を教えることは難しいので、他の日本語教育に関する基礎的な授業でしっかり学んでから挑戦することが望ましいでしょう。応募多数になった場合は、それまでに履修した科目や成績が選考基準となります。

Q 他学類の授業は履修できますか？

A 日本語・日本文化学類の授業だけでなく、他のどの学類でも自分の興味のある授業を自由に受講することができます。ただし、卒業単位(124単位。JE生は135単位)として認められる他学類の授業単位数には、上限があります。

Q 試験はどのように行われますか？

A 試験の形式は、授業によって先生によって様々です。普通のテストのような形式だけでなく、自分の考えを論理的にまとめる形式のものもあります。必ずしも明確な"正解"はなく、自分の考えを、筋道を立てて述べられるか、ということも問われているのです。レポートが課されることもあります。授業と関連のあるテーマが設定され、それについて自分なりに調べて分析するものや、授業内容に関する自らの考えを述べるものなどです。

Q 教員免許を取得したい場合はどうしますか？

A 教員免許を取得しようとした場合、「教職に関する科目」を多数履修する必要があります。さらに、「教科に関する科目」も必要ですが、国語（中学校・高等学校教諭一種）の場合、日本語・日本文化学類の開設科目から履修すれば、卒業単位としても教職単位としても認められるので、それほど大きな負担とはなりません。実際、日々の多くの学生が教員免許の取得を目指しており、国語教員免許取得率は、全学で日日が1位です。

生活編

Q 学生宿舎について教えてください。

A 新入生が優先的に入居できるよう配慮された施設です。毎年、1年生の多くが入居して新しい大学生活をスタートさせています。学生宿舎はいわゆる「寮」とは違い、管理は学生自身に任されています。そのため門限や規則などはなく、常識とモラルの範囲内で自由に生活することができます。入り口には認証システムがあり、セキュリティーは万全です。なお、宿舎ではトイレ、炊事場、洗濯室はフロア共用になります。コインシャワーもあります。居住棟の近くには共用棟があり、食堂、浴場、コンビニ、理容等が配置されています。水道代、ガス代は不要で、電気代のみ支払いますが、格安です。2年次以降も入居したい場合は、希望者による抽選になります。

Q 留学生との交流について教えてください。

A 筑波大学にはグローバルヴィレッジという一般学生と留学生のシェアハウスタイプ型の学生宿舎があり、留学生と生活を共にすることができます。また、日日には多くの留学生が在学しており、チーター制度を利用したり留学生交流パーティーなどに参加したりすることで、授業以外でも多くの留学生と交流することができます。

Q 大学には、他にどのような施設がありますか？

A 書籍部：書籍や文房具などを全て割引価格で購入することができます。
大学会館：郵便局、コンビニ、旅行会社、画材店があります。
保健管理センター：内科・整形外科・精神科の診療を、学生証を提示することで安く受けられます。また、必要に応じて他の医療機関を紹介してもらいます。
そのほか、日日授業棟の中には、録音実験に使える防音室、教育実習で使うマジックミラーの部屋と観察室、学生控室や資料室もあります。また、日日学類関係の部屋として、話し合いに使える畳張りの和室や、教室の一角に障子と床の間の茶室もあり、ここで茶道を学べる授業もあつたりします。

Q どんな食堂がありますか？

A 筑波大学には様々な食堂があり、定食やカレー、パスタ、そば・うどん、パン屋、ハラルフードなど、構内だけでも20近い食堂を利用することができます。いずれの食堂でも気軽に食事ができますので、いろいろ巡ってみて、自分の好きな食堂を見つけてみるのもいいでしょう。図書館併設のコーヒーショップや屋外のキッチンカーを利用して、授業の合間に一息つくこともできます。

Q 学内でパソコンを利用することができますか？

A 筑波大学では、全学計算機システムのサテライト室（コンピュータ室）が、図書館や学群棟（講義棟）の各所に配置され、学生はそのどこでも同じようにパソコンやプリンタ、スキャナを利用することができます。また、学内無線LANシステム、学生宿舎LANシステム等の設備も充実しており、宿舎でも無料でインターネットに接続することができます。なお、メールアドレスが学生全員に与えられており、学外からチェックすることができます。

Q 学生の交通手段は何ですか？

A ほとんどの学生が自転車を利用します（このページの背景をよく見てください）。大学周辺には宿舎やアパートが多数あり、お店も多数点在するので、自転車があれば不自由のない生活が送れます。中には自動車やバイク等を利用する学生もいます。自動車所有率は、他大学より多いかもしれません。学内移動やつくば駅までは、大学循環バスを利用する人も多いです。つくば駅から秋葉原へは、つくばエクスプレスが最短45分と早いですが、大学から東京駅まで行く高速バスも出ています。

Q サークル活動には、どんなものがありますか？

A 筑波大学公認のサークル活動には、大きく分けて「体育系」「文化系」「芸術系」の3つがあります。
体育系サークル：サッカー・野球、テニスといったメジャースポーツから、ヨット、ライフル、アーチェリーまで、様々なサークルが活動しています。
文化系サークル：茶道、映画、将棋から、社会福祉系サークルまで、様々なサークルがあります。
芸術系サークル：オーケストラ、アカペラ、合唱、津軽三味線といった音楽系のものや、舞蹈、絵画、焼き物、写真といったものがあります。

入試案内

【入試の詳細】

最新情報は、大学や学類のホームページをご覧ください。

筑波大学ホームページ <https://www.tsukuba.ac.jp/>

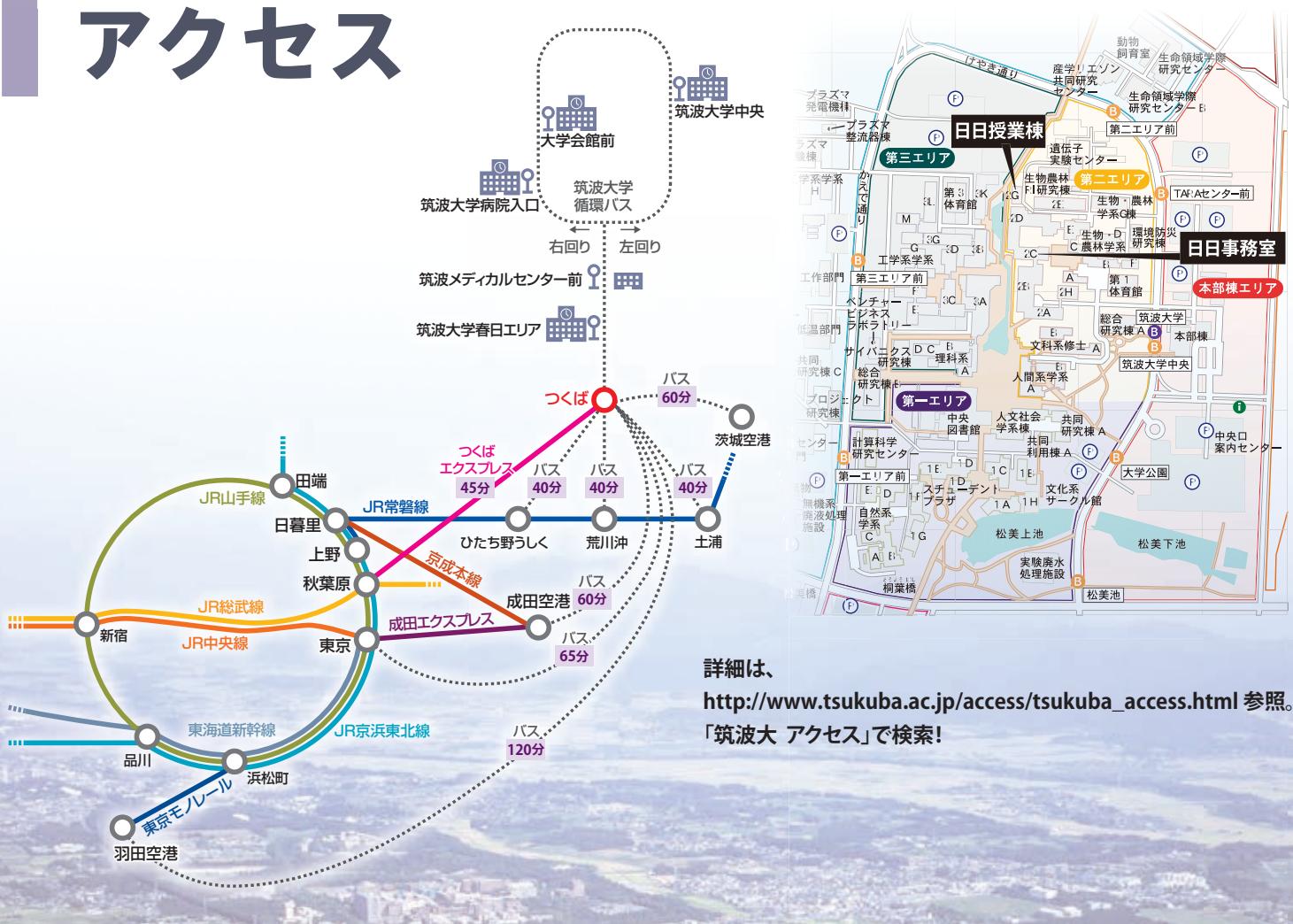
日本語・日本文化学類ホームページ <https://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>

【筑波大学オープンキャンパス】

毎年7-8月頃に筑波キャンパスで「オープンキャンパス」が、3月末に「春の進学説明会」が行われます。

詳細は、日本語・日本文化学類のHPをご覧ください。

アクセス



伝えたい日本がある。



編集後記

最後までご覧いただきありがとうございます。日日学類の魅力を詰め込んだ学類パンフレットはいかがでしたか？

「日日に来たらこんなに楽しいことが待っている」というわくわく感が伝わるように作成しました。少しでもみなさんに届いていれば幸いです。

私自身、高校生の時に学類パンフレットを読むことで、日日にいる自分を想像し期待に胸を膨らませていました。実際に入学してからの日々は想像したものよりずっと楽しく充実しており、日日を選んで良かったと思うばかりです。このパンフレットを読んでいるみなさんと、そんな日日での生活を共にすることを楽しみにしております。

最後になりますが、パンフレット制作に関して協力していただいたすべての方に、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。





筑波大学 人文・文化学群
日本語・日本文化学類

*College of Japanese Language and Culture,
School of Humanities and Culture,
University of Tsukuba*

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
TEL 029-853-6764
FAX 029-853-6839



筑波日日

 <https://www.japanese.tsukuba.ac.jp/> 

 <https://www.facebook.com/tsukuba.nichinichi> 

 @Nichinichi 

